

発 行 鳥 取 大 学 学 生 部 学 生 生 活 課 〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

0857-31-5058

鳥取大学学生生活支援委員会 学生生活実態調査専門委員会

WEB版は こちらから



2024年3月発行

※本報告書利用上の注意

本報告書に掲載されている本学独自の調査データを、引用・転載・コピーして二次利用されることは自由ですが、利用された場合は上記編集委員会(事務担当は発行者欄に記載)宛に利用内容をご報告願います。





はじめに

この報告書は、令和5(2023)年10月に実施した、学生生活実態調査の結果を取りまとめたものです。

学生生活実態調査は、法人化される前の国立大学時代から実施していた定期調査 (当時は4年に1度) を引き継ぎ、「本学学生の生活実態を把握し、学生の教育及び福利厚生の改善並びに充実のための基礎資料を得る」ため、実施してきているものです。調査結果は、この目的のために使われるとともに、高校生達への説明資料、外部機関への提供資料としても活用されています。

平成22 (2010) 年度からの報告書は、鳥取大学のホームページでも公表されています。 (http://www.st-support.adm.tottori-u.ac.jp/research/index.html)

本調査は、およそ隔年(2年毎)に実施してきましたが、設問数が増えてきて回答に時間がかかるという問題点を改善するために、今回から形式を大きく変更しました。従来の調査において、基本編と学生支援体制編(前回は、COVID-19感染拡大の最中でもあり、特別に感染症編を追加)の2部構成となっていたものを分割し、それぞれを2年毎に交互に行うことにしました。同時に、いくつかの設問を削除しました。

今回は基本編にあたる学生生活編の調査を行い、2年後に学生支援体制編の調査を行います。また、前回まで対象外とされていた留学生を調査対象に加えることとしました。

前回までの調査と同様、貴重なデータが得られました。本学の改善や充実のために協力し意見を述べようとする学生の意欲の顕れである自由記述回答も多数得られています。前回調査においても、学生を含んだワーキンググループを設置し、各部局とともに指摘や要望に対する改善方策を探ってきました。今回も大学におけるPDCAサイクルの一つとして、この調査結果を活かしていきたいと考えています。

一方、調査の回答率は、この数回50%を下回っています。今回の回答率は、関係者の努力や景品(本学FSCのお米)配布の試行にもかかわらず、前回より2.8ポイント向上したものの43.1%に留まりました。設問数の削減も回答率向上のための有効な方策とはなりませんでした。

次回の回答率向上に向けて、アイデアを頂戴できる方がいらっしゃったら、学生部学生生活課にご一報頂ければ、 大変ありがたいです。

回答頂いた全ての学生諸君、回答率向上のために労を取って頂いた各部局長や関係教職員、学生生活支援委員会委員、また、調査内容の検討から準備、データ整理、分析、報告書編集まで実働に携わられた学生生活実態調査専門委員会委員や学生生活課職員、技術部職員をはじめ、本調査にご協力を頂いたすべての学生・教職員の皆様にあらためて感謝します。

令和6年3月

鳥取大学 学生生活支援委員会 学生生活実態調査専門委員会 委員長

後藤 知伸

目次

はじめに	
目次	2
調査・集計・編集の概要	3

学生生活編

経済状況や居住環境、勉強やサークル活動など、日常の学生生活について回答してもらいました。

住居・通学方法について	4
課外活動について	7
アルバイトについて	9
カリキュラムについて	11
家計状況について	13
学生生活について	18
その他	23
参考資料	25

学生生活実態調査専門委員会 名簿

_{委員長} 後藤 知伸	学生支援センター長	令 5.4.1~令 7.3.31
大元 鈴子	地域学部 准教授	令 5.4.1~令 6.3.31
飯野 守男	医学部 教授	令 5.4.1~令 6.3.31
小野 佑輔	工学部 教授	令 5.4.1~令 6.3.31
清水 克之	農学部 教授	令 5.4.1~令 6.3.31
田鍋 良臣	教育支援・国際交流推進機構(高等教育開発センター) 准教授	令 5.4.1~令 7.3.31
森川 修	教育支援・国際交流推進機構(入学センター) 教授	令 5.4.1~令 7.3.31
桐山 聰	教育支援・国際交流推進機構(教養教育センター) 准教授	令 5.4.1~令 7.3.31
長尾 博暢	教育支援・国際交流推進機構(キャリアセンター) 准教授	令 5.4.1~令 7.3.31
井上 菜穂	教育支援・国際交流推進機構(学生支援センター) 准教授	令 5.4.1~令 7.3.31
三島 香津子	保健管理センター 所長	令 5.4.1~令 7.3.31
森本 拡伸	学生部学生生活課 課長	令 3.4.1~
西尾 憲二	学生部学生生活課 学生支援係長	令 5.4.1~令 7.3.31
大野 賢一	学長室 教授	令 5.4.1~令 7.3.31

調査・集計・編集の概要

本調査は、本学学生の生活実態を把握し、学生の教育及び ■ 調査の目的

福利厚生の改善並びに充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

令和5年9月1日現在に在籍する学部及び大学院学生全員

■ 調査の対象 (ただし、休学者、連合獣医学研究科の全学生、連合農学研究科の他大学配置学生及び調査開始までに

卒業・修了等により学籍を喪失する者を除く。)

| 調 査 の 方 法 Webシステムによるアンケート調査

■ 集計の方法 所属、入学年度等の基本情報に基づき、設問毎に統計的にデータの集計を行った。

(なお、構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがある。)

■ 編集の方法 各回答の集計データを基に、学生生活実態調査専門委員会が分析を行った。 (なお、回答者数が5名以下の学部等は個別の集計の表示を省略しています)

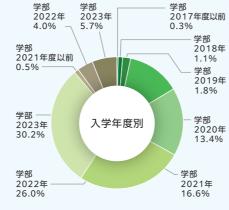
調査表の 回収状況

学部·研究科	回収者数(人)	対象者数(人)	回答率(%)
地域学部	290	717	40.4%
医学部	501	1319	38.0%
工学部	884	1860	47.5%
農学部	619	1128	54.9%
持続性社会創生科学研究科	196	551	35.6%
医学系研究科(修士)	10	16	62.5%
医学系研究科(博士)	9	131	6.9%
医学系研究科(博士前期)	24	74	32.4%
医学系研究科(博士後期)	4	23	17.4%
工学研究科	10	41	24.4%
連合農学研究科	5	50	10.0%
共同獣医学研究科	5	16	31.3%
総計	2557	5926	43.1%

| 調査に協力してくれた学生



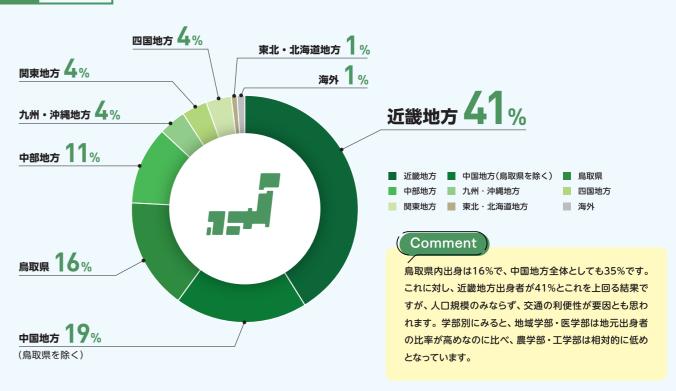




01 (

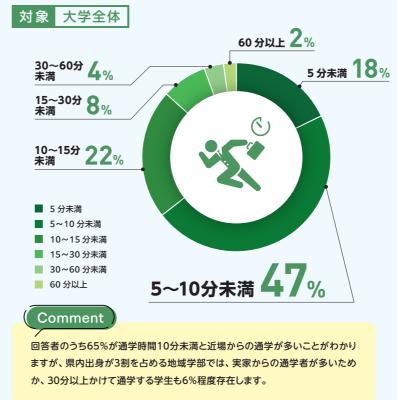
あなたの出身地域はどこですか?

対象 大学全体



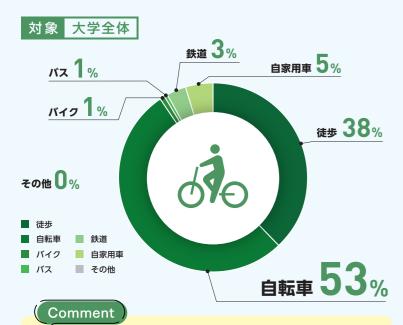
02

あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか?



対象	学部	3					
111	地域学部	14	41	19	13	6	6
7.	医学部	17	45	2	26	9	32
工学部農学部		21	50		19	5	41
		14	50		26	7	21
		17	48		22	7	42
子	4部全体						
対象	大学	院					

対象大学	院								
持続性社会創生科学研究科	25		2	5	13	25	5	1	3
地域学専攻 持続性社会創生科学研究科	26			4	18		15	ç	9 1
工学専攻 持続性社会創生科学研究科	23			39		23		13	3
農学専攻 持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻		38			38		13	1	3
医学系研究科(修士)	18	12		38	8	2	21	9	3
修士全体	25			40		20	1	1	32
医学系研究科(博士)	8	23		3	8	8		23	
工学研究科	10		40		20	10)	20	
共同獣医学研究科	20		20	2	.0	20		20	
連合農学研究科			60			20		20	
博士全体	18		27		24	9	3	18	
大学院全体	24			39	ı	20		11	34

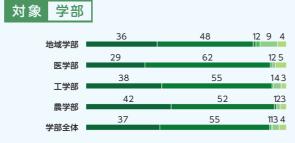


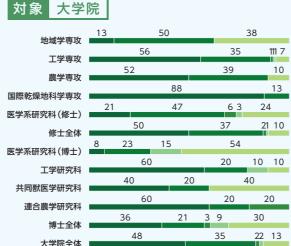
38%が徒歩、53%が自転車通学で、全体の9割を占めています。問4とも関連し

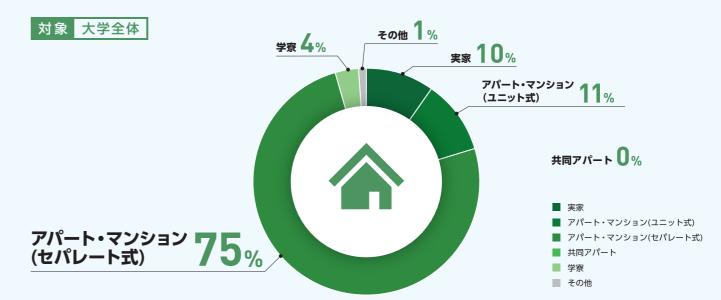
ますが、ほとんどの学生が近隣のアパートに住んでいることと合致しています。

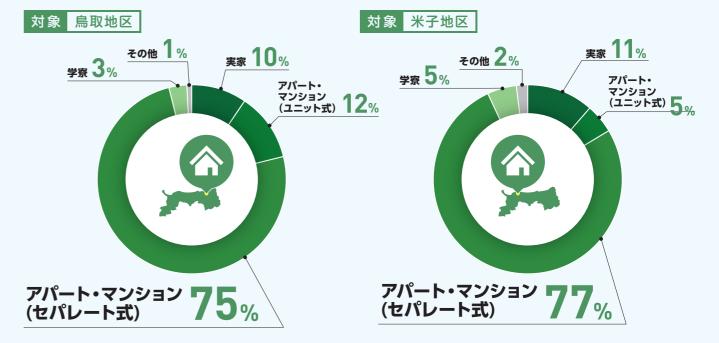
ただし地域学部の学生については、実家から通っている比率が多いせいか、鉄

道を利用する割合が他に比べ多い傾向があります。









対象 学部

地域学部	21 6	68	4
医学部	10 7	76	5
	8 12	76	3
工学部	6 12	78	۷
農学部	10 10	76	4
学部全体			

Comment

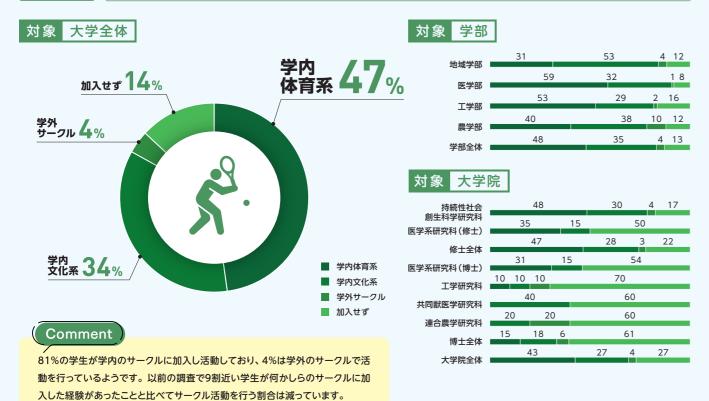
回答者のうち10%が実家住まいで、90%がアパート・マンション等で生活してい るという結果ですが、共同アパート居住者はほとんどいないようです。部屋の構 造については、トイレとお風呂がそれぞれ分かれているセパレート式を選択する 学生が圧倒的に多いこともわかります。

対象 大学院

地域学専攻		38		25	1	3	13	13
工学専攻	9	13			78			
上子·守攻 農学·専攻	6 13	3			81			
		38			6	3		
国際乾燥地科学専攻	2	6	6		56			9 3
医学系研究科(修士)	12	13			72			21
修士全体 医学系研究科(博士)	15	15	5	38		8	2	23
	20			60				20
工学研究科				100				
共同獣医学研究科			60				40	
連合農学研究科	6	21		55			3	15
博士全体	11	14			70			23
大学院全体								

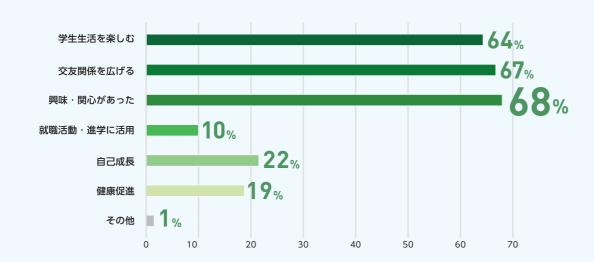
05

学生生活実態調査



サークルに入った(または入っていた)主な理由はなんですか? (複数選択可) (問5の質問で加入または加入していたと答えた方)

対象 大学全体



Comment

「学生生活を楽しむ」、「交友関係を広げる」、「興味・関心があった」の要素はほぼ同じくらい重要です。現在を楽しみながら、 積極的に興味のあることを探求することは、大学生活の魅力の一つです。

あなたは、サークル等で一週間平均何時間くらい活動してい ますか? (問5の質問で加入または加入していたと答えた方)

対象 大学全体

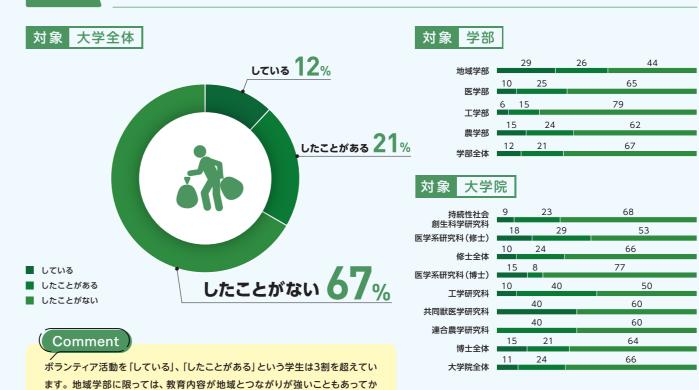


Comment

55%と他の学部に比べ高い数値となっています。

回答者のうち44%が1週間平均4時間未満の活動のようです。前回調査時(51%)より少なくなっています。コロナ禍で活動が 抑制された時期がある事が関係する可能性があります。学部、大学院の別を問わず、活動時間には同様の傾向がみられます。

あなたは、直近1年間に地域活動やボランティア活動をしてい ますか(またはしたことがありますか)?



地域学専攻、工学研究科、医学系研究科(博士)を除くすべての所属において、7割以上の学生がアルバイトをしています。その中でも、国際乾燥地科学専攻の100%(ただし回答者8名)、農学専攻の90%(31名)、地域学部83%(290名)、農学部83%(619名)が高い所属となっています。

対象 学部

地域学部	83	17
	73	27
医学部	76	24
工学部	76	24
農学部	83	17
	78	22
学部全体		

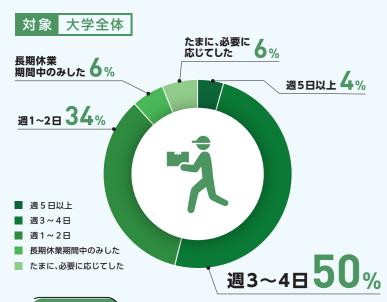
対象 大学院

111.1-12.226	63		38	
地域学専攻	85	5		15
工学専攻		90		10
農学専攻		100		
国際乾燥地科学専攻	70	100		24
医学系研究科 (修士)	79			21
修士全体	85	5		15
医学系研究科(博士)	62		38	
工学研究科	30		70	
共同獣医学研究科		100		
連合農学研究科	80			20
	61		39	
博士全体大学院全体	61 82		39	18

09-1

あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

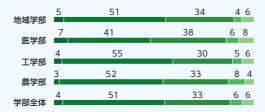
(問8の質問ではいと答えた方)



Comment

アルバイト日数は、学部全体では約半数が週3~4日以内と解答しており、修士全体(約46%)および博士全体(50%)が週1~2日となっています。週5日以上と解答した割合は、学部全体で4%、修士全体で4%、博士全体で15%と比較的低いもののほぼ毎日アルバイトしている学生もいます。

対象 学部



対象 大学院

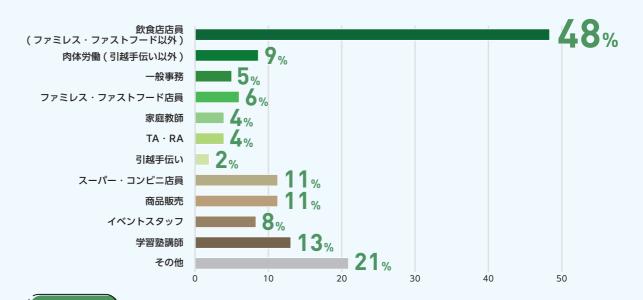


09-2

直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。

〔複数選択可能〕(問8の質問ではいと答えた方)

対象 大学全体



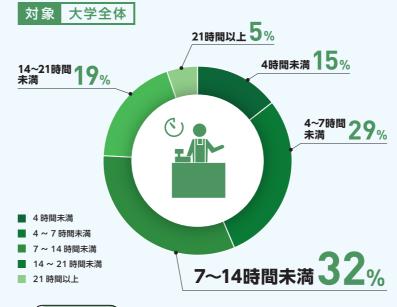
Comment

最も多かったのは「飲食店店員(ファミレス・ファーストフード以外)」(48%)で、これに「ファミレス・ファーストフード店員」(6%)を加えると半数 を超えました。大学から近く、勤務シフトが組みやすいアルバイトとして人気です。まかないが付く飲食店は学生にとってありがたい存在です。

09-3

1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

(問8の質問ではいと答えた方)



Comment

1週間の平均アルバイト時間は「7-14時間」が最多(32%)で、次いで「4-7時間」 (29%)で、この2つを合わせると半数を超えます(61%)。週に2-3回、数時間ずつや、 土日にまとめて働くパターンなどが考えられます。学部間で目立った差はありません。

対象 学部

地域学部	14	33	30	17	5
医学部	17	32	31	14	6
	12	26	35	21	5
工学部	14	31	31	18	5
農学部	14	30	33	19	5
学部全体					

対象 大学院

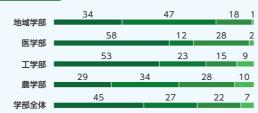
	持続性社会	20	22	31		22	
	創生科学研究科	26	22	3	33	1	9
	医学系研究科(修士) 修士全体	21	22	32		21	
	医学系研究科(博士)	25	25		38		13
	工学研究科	33		33		33	
	共同獣医学研究科		60		20	2	0
-	連合農学研究科	25		50		25	
	博士全体	10	40	15	2.	5	10
	大学院全体	20	24	30		22	
	. 13 1/0=11						

■ 講義(必修) ■ 講義(必修以外) ■ 実験・演習・実習・ゼミなど 研究字活動(卒業研究・修十論文を含む)

Comment

学部全体では「研究室活動(卒業研究・修士論文を含む)」を選択した学生は7%に留まる一方、修士全体では55%、博士全体では67%がこの項目を選択している。この結果から、学部生はカリキュラムとして提供される教育に満足しており、大学院生は研究室での活動に満足していることがわかる。

対象 学部



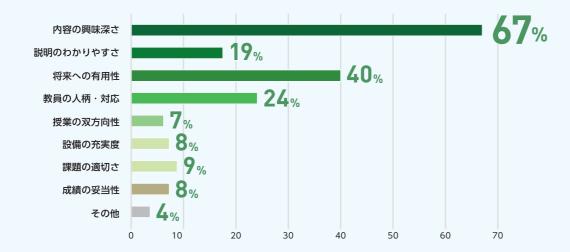
対象 大学院

地域学専攻		38		50			
	27	8	3 11	54			
工学専攻	13 6	19		61			
農学専攻		13					
国際乾燥地科学専攻	13	13 88					
医学系研究科(修士)	15	12	26	47			
	22	9	14	55			
修士全体			1	F.4			
医学系研究科 (博士)	8 8	3		54			
工学研究科			1	00			
	20		40	40			
共同獣医学研究科	20	20)	60			
連合農学研究科		21		67			
博士全体	9 3	21		67			
上兴险人体	20	8	15	57			

10-2

学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

対象 大学全体



Comment

学部全体、修士全体、博士全体でみると、それぞれの項目を選択した割合に大きな違いはありませんでした。「内容の興味深さ」、「将来への有用性」を選択した割合が高い一方で、「授業の双方向性」、「設備の充実度」、「課題の適切さ」、「成績の妥当性」を選択した割合が低くなっています。

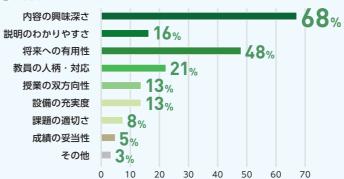
10-2

学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕





■実験・演習・実習・ゼミなど





10 20 30

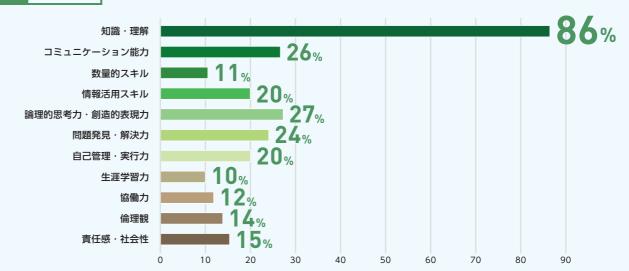
10 20 30 40 50 60 70 80

40 50 60 70

10-3

授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。 〔複数選択可能〕

対象 大学全体

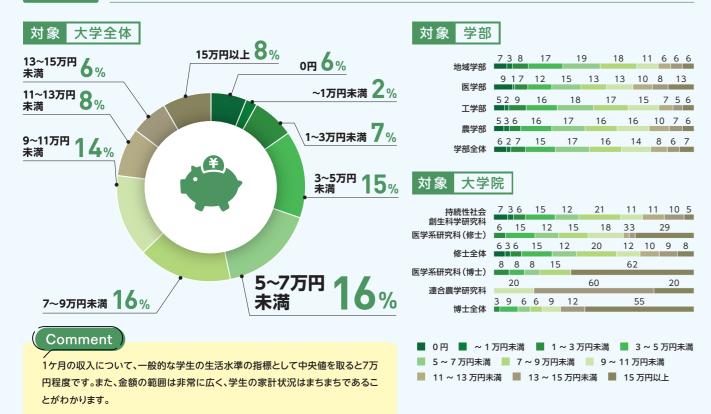


Comment

鳥取大学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)が提示する能力・技能について、実際どのような力が身に付いたと思うか聞いたところ、学部・大学院とも86%の学生が「知識・理解」を選択して最大となっており、他に「論理的思考力・創造的表現力」も27%の学生が身に付いたとしています。

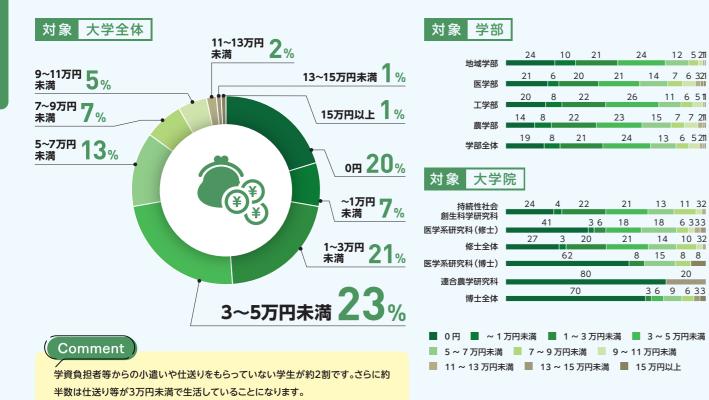
11-1

あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくら ですか。



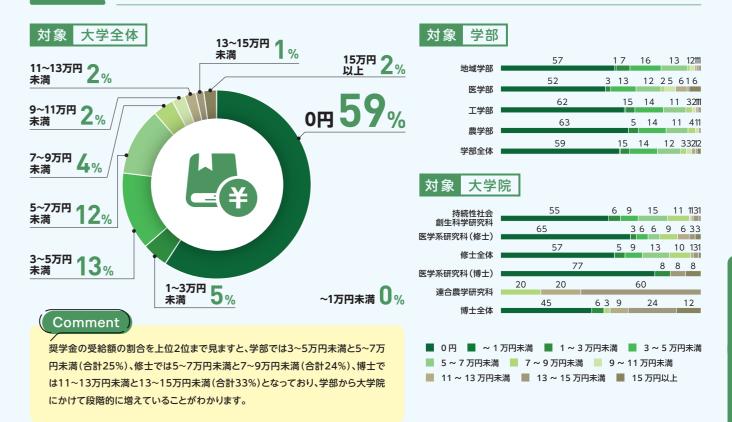
11-2

【収入内訳】学資負担者等からの小遣いや仕送り



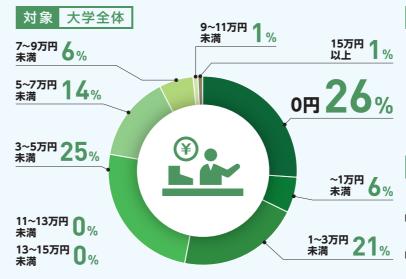
11-3

【収入内訳】奨学金



11-4

【収入内訳】アルバイト



Comment

アルバイトの割合を見ますと、学部と修士では3~5万円未満が最も多く(学部25%、修士30%)、次に1~3万円未満(学部21%、修士20%)となり、同じような傾向にあると言えます。博士はアルバイトをしている割合が最も少ないですが、15万円以上の割合が18%と比較的高くなっています。

対象 学部

地域学部	21	7	20	26		18	6 1
医学部	34		7	22	21	11	1 31
	27	4	18	24		17	8 1
工学部	22	7	24		28	12	5 1
農学部	27	6	21		25	14	61
学部全体							

対象 大学院

%	持続性社会	18	9	17 32		32		1	15	6 111
	創生科学研究科 医学系研究科(修士)	18	12	35 15		5	18 3			
	修士全体	18	10	20		30)		15	511
0	医学系研究科(博士)	31			31		8		31	
	連合農学研究科	20	2	20		40			20)
	博士全体	42				21	9 :	333	18	8

- 0円 ~1万円未満 1~3万円未満 3~5万円未満 5~7万円未満 7~9万円未満 9~11万円未満
- 11 ~ 13 万円未満 13 ~ 15 万円未満 15 万円以上

13

学生生活実態調査

対象 学部

地域学部	1 5	1	8	21	21	1.	4 9	6	32
医学部	12	11	17	18	16	1.	7 8	5	5
	4	13	22		21	20	11	5	31
工学部	2	12	18	23	3	20	15	6	22
農学部	13	13	20		21	18	13	6	32
学部全体						. •			

対象 大学院

持続性社会	17 18			17		23	3 19		10 23		
創生科学研究科 医学系研究科(修士)	3	3 26		_	12		21	12	12 3 9		15
修士全体	7	7 19			17		23		18		34
医学系研究科(博士)		15	8	8	1	5		Ę	54		
連合農学研究科		20		1	20		20		40		
博士全体	6	6	9	6	12	6	12		42		

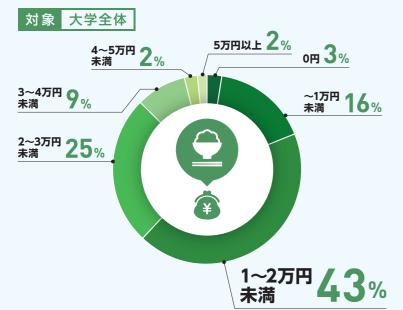
Comment

1ケ月の支出について、一般的な学生の生活水準の指標として平均値を取ると5~7 万円でした。近年の物価高騰で支出の増加が気になるところですが、前回(2年前)、 前々回(5年前)と各金額体での差は2%以内で、大きな変化は見られませんでした。

■ 0円 ■ ~1万円未満 ■ 1~3万円未満

- 3~5万円未満 5~7万円未満 7~9万円未満
- 9 ~ 11 万円未満 11 ~ 13 万円未満 13 ~ 15 万円未満
- 15万円以上

【支出内訳】食費



Comment

食費は1~2万円が最も多くなっています。1ケ月の食費としては少ないように思わ れますが、鳥取大学の学生の約75%は、大学生協のミールカードを利用しています。 その金額が反映されていないため、このような結果になっていると推測されます。

対象 学部

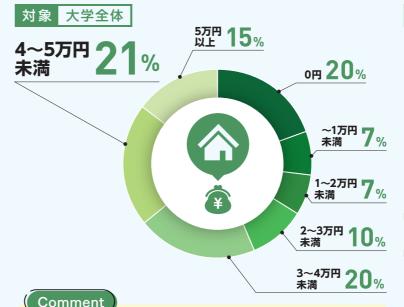
地域学部	5	21	44		21	-	7 1
医学部	4	16	44	24	1	8	32
	2	17	42	27		9	21
工学部	2	16	47	2	5	7	21
農学部	3	17	44	2!	5	8	21
学部全体							

対象 大学院

J	33	15 21
41	21	18 6
0	31	15 12
5 15	8	38
)	40	20
21	15	30
	0 5 15	41 21 0 31 5 15 8

- 0円 ~1万円未満 1~2万円未満
- 2~3万円未満 3~4万円未満 4~5万円未満 5万円以上

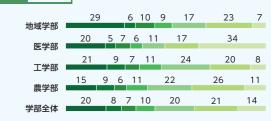
【支出内訳】 住居費〔家賃、光熱水料費含む〕



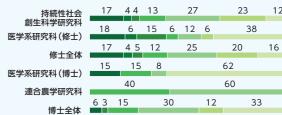
Comment

住居費0円の割合は地域学部が29%以上と最多で、大学全体でも20%近い値で す。それ以外の住居費帯では、4~5万円未満が大学全体の21%以上と最多です。 学部別に見ると、工学部が3~4万円未満、地域学部と農学部が4~5万円未満、医 学部が5万円以上で最多となっており、学部間の差異が表れています。

対象 学部

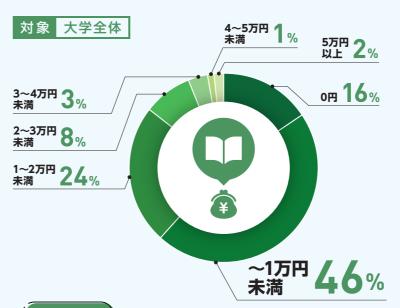


対象 大学院



- 0円 ~1万円未満 1~2万円未満
- 2 ~ 3 万円未満 3 ~ 4 万円未満 4 ~ 5 万円未満
- 5 万円以上

【支出内訳】修学費 〔教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等〕



Comment

大学全体では、修学費が0円~2万円未満の割合が86%を占めており、内訳は1円 ~1万円未満が46%以上で最多です。学部では4学部とも1円~1万円未満が最多 で、1万円~2万円未満がそれに次いでいます。修士では修学費が0円の割合が相 対的に増し、専攻によっては最多の修学費帯の逆転が見られます。

対象 学部

地域学部	16	44	29	8 2
医学部	16	51	18	9 32
工学部	13	42	28	10 512
上字部 農学部	12	51	25	7 32
	13	47	25	9 41
学部全体				

対象 大学院

持続性社会	4	1		40		1	0 4212
創生科学研究科 医学系研究科(修士)	21		47		1	8	9 33
医子术听九科 (修工) 修士全体	38			41		11	5 212
医学系研究科(博士)	23		46		8	8	15
連合農学研究科	40)			60		
连口展 子 听九科 博士全体	12	45			30		33 6
学工土14							

- 0円 ~1万円未満 1~2万円未満
- 2 ~ 3 万円未満 3 ~ 4 万円未満 4 ~ 5 万円未満
- 5 万円以上

学生生活実態調査

対象 大学全体 3~4万円 **2**% 5万円 1 % 2~3万円 未満 **од 38**% 1~2万円 12% ~1万円 42% Comment

大学全体でみると、「~1万円未満」の回答割合が4割強を占めています。一方で、

「0円」、すなわちサークル活動やボランティア活動等の課外活動に支出することの

ない学生も4割近くに達しています。また、割合こそ多くはありませんが、平均数万

円単位で課外活動に毎月支出している学生も存在しています。



対象 大学院

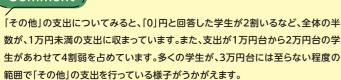
学部全体

持続性社会	69		21	(5 211
創生科学研究科 医学系研究科(修士)	82		6	3	6 3
修士全体	71		19	į	5 311
医学系研究科(博士)	69	8	8	8	8
連合農学研究科	60	20		20	
博士全体	73	g) 1	12	33

- 0円 ~1万円未満 1~2万円未満
- 2~3万円未満 3~4万円未満 4~5万円未満 5万円以上

【支出内訳】その他〔問12-2~12-5に含まれない経費〕





対象 学部

地域学部	19	31	26	13 5 32
医学部	21	32	22	14 424
工学部	23	33	22	13 5 22
農学部	17	32	28	13 6 12
展于III 学部全体	20	32	24	13 5 23
于叩工件				

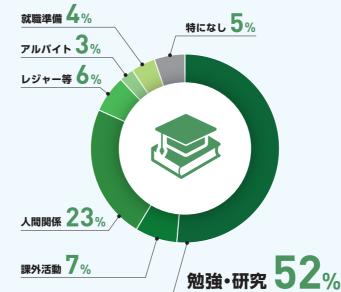
対象 大学院



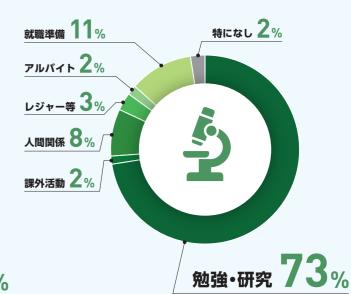
- 0円 ~1万円未満 1~2万円未満
- 2 ~ 3 万円未満 3 ~ 4 万円未満 4 ~ 5 万円未満 5 万円以上

あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をお いて行動していますか。

対象 学部全体



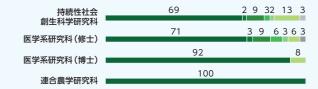




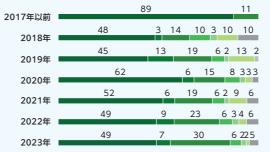
対象 学部

也域学部	43	8		27	8 3 5 6
医学部	57		5	23	5 33 4
工学部	52		7	21	7 2 5 6
土于印	51		9	24	6 24 4

対象 大学院



学部入学年度別



対象 大学院入学年度別



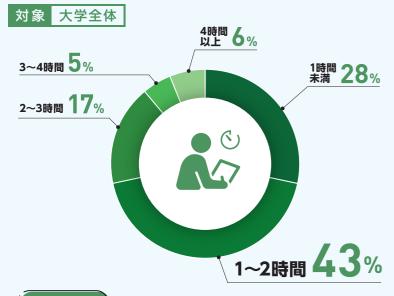
Comment

大学生活の中で一番重点をおくものとして、学部生・大学院生ともに「勉強・研究」が最も多く、次いで「人間関係」を大切にしていることが わかりました。学部別では理系学部のほうが勉強・研究に力をいれている傾向があり、高学年になるとその割合が増加しています。

令和5年度 学生生活実態調査

14

あなたは授業以外で、予習·復習の他、宿題やレポート作成を 含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。



対象 学部入学年度別

2017年以前	22		56	5			22
2017年以前	14	17	28		10	3	1
2018年	17		45		2	3	11 4
	25		36		18	8	13
2020年	24		47			19	6
2021年	3	0	4	5		20	0 3
2022年	35		48			12 3	
2023年							

対象 大学院入学年度別

2021年以前	21	14	14		50		
2021年以前	28		26	15	11		20
2023年	21		37	19)	9	14
2025-							

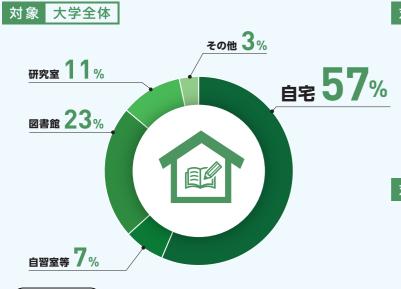
■ 1時間未満■ 1~2時間■ 2~■ 4時間以上

Comment

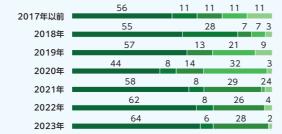
大学の授業以外の勉強時間は全体の9割近い学生が3時間未満とこたえています。学部生・大学院生ともに1~2時間が最も多く(43%)、次いで1時間未満(28%)、2~3時間(17%)でした。学部や入学年度によって大きな差はみられませんでした。

15

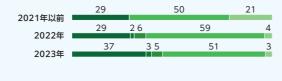
授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。



対象 学部入学年度別



対象 大学院入学年度別



■ 自習室等 ■ 図書館 ■ 研究室

■ その他

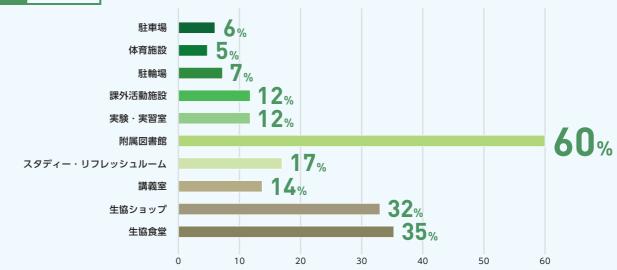
Comment

大学全体では、自宅(57%)が最も多く次に図書館(23%)でした。一方、学部入学年度2020年以前の学生では図書館が減り、研究室が増え、大学院生では自宅・図書館に比べて研究室で勉強する学生が多い結果でした。研究室配属により、研究室で勉強する学生が増えると考えられました。

16

本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。〔複数選択可能〕

対象 大学全体



Comment

大学全体では、多い順に図書館(60%)・生協食堂(35%)・生協ショップ(32%)でした。他の施設は全て20%未満で、より良い施設に向けて検討が望まれます。一方、実験・研究施設は学部(10%)に比べて大学院(31%)では高く、回答には利用頻度の影響も推測されました。

対象 大学院全体 満足度 合計 87% 不満 3% やや不満 10% 満足35% やや満足 52%

対象 学部

地域学部	37	55	6 2
医学部	35	52	9 4
工学部	29	57	11 2
ᆂᆇᇷ	39	51	8 2

対象 大学院

持続性社会	34	55		8 3
創生科学研究科 医学系研究科(修士)	44	44	1	9 3
修士全体	35	53		8 3
医学系研究科(博士)	38	23	38	
連合農学研究科	40	20	40	
博士全体	30	42	21	6

対象 学部入学年度別

2017年以前		78	22
2017年以前	28	41	24 7
2019年	23	53	19 4
2019年	37	49	10 4
2020年	33	56	9 2
2021年	34	55	9 2
2022年	35	55	8 2
20254			

対象 大学院入学年度別

2021以前	29	50	14 7
	37	50	10 3
2022年			
2023年	34	53	10 3

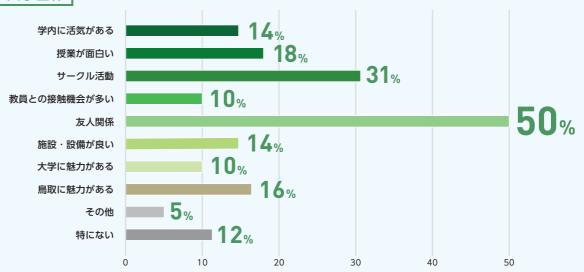
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

Comment

学部生は88%、大学院生は87%となっており、9割弱の学生が学生生活に満足していました。前回の調査結果と比べると、それぞれ9ポイ ント増と6ポイント増となっており、コロナ禍が明けたことが満足度に影響しているようです。学部・研究科間や入学年度別では大きな違い はみられませんでした。

現在の学生生活で満足している部分を教えてください。 〔複数選択可能〕

対象 大学全体



Comment

大学全体では、「友人関係(50%)」と「サークル活動(31%)」が主な理由でした。学部生でも同様の傾向がみられましたが、 大学院生では「友人関係(38%)」と「教員との接触機会(30%)」が主な理由となっており、研究室配属や研究活動を通じた 教員との繋がりが影響しているようです。

19

本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

■主な自由記述内容

主な自由記述内容を以下に記載しますが、同じ内容のものや、個人もしくは特定の関係者を中傷する内容の意見は委員会の判断により掲載をしていません。また、掲載にあたり、文章に必要最低限の修正を加えているものがあります。

学習支援

子百又坂		
研究室に関	する案内や情報発信をもう少し早めに行ってほしい。	工学部
1年生の時だ	ら学科の研究室についてもっと知る機会を設けてほしい。	工学部
Wi-Fiが全然	うつながらなくて、困っています。	農学部
	i義室を書いてほしい。 巻と書いてない授業があって調べるのが大変。	農学部
すべての講	遠室でパソコンの充電ができるようにしてほしい。	医学部
	図書館の席が埋まりやすいので、もっと自習室があると嬉しいと思います。 3入試についての情報をもっと知りたいです。	工学部
	の自習スペースをもう少し増やしてほしい。テスト期間になると、図書館の自習室も学部の自習室も席が埋まっ スペースが確保できない。	農学部
	きる場所を増やしてほしい。図書館以外でもよいので朝早くから自習できる場所が欲しい。対面授業がどの学 たため、自習に使用できる教室が少なくなっている。	工学部
もっと自分 <i>の</i> たりしてほし	興味のある研究や学習の分野について海外で学べる機会があったり、海外での状況や情報を知れる機会があっ い。	地域学部
	ッンパスが学年で離れていて、上級生の生の声を聴きたくても聞ける機会がなく、初めの履修登録も不安で仕方)で、これからの人のためにもそのような場を作ってほしいです。	医学部
一年生の必(と思います。	8の選択の授業の抽選制度をもう少し工夫した方がいいと思います。授業が取れる人と取れない人の偏りがひどい	農学部
	を積む機会をもっと提供してほしい。 はもっと多くてもよい。 現場見学など行ってみたい。	工学部
学務支援シス	ステム、manabaのサイトがもっと見やすく、使いやすくなってほしい。	工学部
	ステムについて。自己判定システムで、「その他科目」を含めて合格不合格が判断できるようにしてほしい。現状 也科目」で数を稼いでいる人が不安になるような様式に感じる。	農学部
教養科目の	由選がかなり外れて履修できないのが少し残念でした。	農学部
	をきれいに掃除してほしい。 いにしてほしい。	地域学部
manabaと	学務支援システムを使い分けるのにメリットを感じないので、統一してほしい。	工学部
自習スページ	てを増やしてほしい。	農学部
図書館の開館	宮時間を延ばして欲しい。	工学部
ると、図書館	が少ないのに、他の校舎が18時以降施錠されるため勉強できる場所が少ない。日中はずっと授業がある人からすの閉館時間が22時になったのも、テスト期間以外は日曜が18時前に閉まるのも、不便。近くにカフェなどもない転車を持たない人のことも考慮して学習環境を作ってほしい。	農学部
米子の生徒に	こももっとオンラインなどで全学共通科目を受講する機会が欲しい。	医学部

経済支援

生協のポイントを貯めてプリペイドカードに送ると、買い物の際に使える仕組みがあるのは便利だが米子地区では周知の貼り紙がなく、知る機会がない。貼り紙を作っていただきたい。	医学部
奨学金の種類と申請のしやすさを増やすといいかもしれません。	工学部
奨学金が手厚くて助かっています。	医学部
教科書代が高いため、支援がほしい。	医学部
お米の配布なども多く、地域からの鳥大への期待は大きいと感じる。一方で、日本学生支援機構の給付型が取れないが、支援を必要としている層が一定数いることを忘れないでほしい。非課税であったりはしないが中間層もいる。給付型奨学生だけではなく、貸与型1種の学生にも「とりりん奨学金」の枠が与えられたことは評価できる。	工学部

生活支援

夜の構内が非常に暗い。防犯の面で危ないと思う。切れている電気は変えてほしいし、駐輪場に蛍光灯を設置すべき。	医学部
鳥取大学内、周辺の草木を全部とは言わずともおおかた伐採してほしい。教員センター付近やサークル棟付近など。付属図書館前の最近自転車同士の事故もあったからである。そもそも大学内に坂(斜面)が多いため、そこに木という障害物があると視界が悪く、危険である。小学生や中学生も大学内を通学路として使っているので児童生徒の安全のためにも、草木は付属図書館前の広場の芝生と数本の木しかいらないと思う。	地域学部
駐輪場に屋根が欲しい。	工学部
生協食堂の営業時間を拡大してほしいです。実習が長引いた際に夜ご飯を取れたら嬉しいです。	医学部
eduroamが弱すぎて、講義室では重すぎるので回線の強度を上げてほしい(特にE棟)。また、旧排水処理施設を改装してほしい。	農学部

令和5年度 学生生活実態調査

就職支援

低次学年のころから各研究室や配属ゼミの情報をもらいたい。その後の就職活動にどうつながっていくか考えるためにも、早	地域学部	
い段階での就活情報が欲しい。	地域于即	

その他

部活の活動する施設・環境が悪い点。もう少し施設をきれいにする、施設を充実させる、環境を良くする(雑草、設備等)など	農学部
入学前に、保健学科・生命科学科の鳥取市から米子市への移動について具体的な時期を調べたものの、はっきりとした情報が出て来なくて困った覚えがある。そのため、パンフレットやホームページに明記していただきたい。	医学部
生協の食堂及び売店の価格が割高感があるので、もう少し安価に提供してほしい。また、大学の学部等から徒歩数分あるいは構内に コンビニやファストフード店、またすなば珈琲といったコーヒーショップがあるとより快適な学生生活が送れ、鳥取大学自体の魅力も 増すと思う。	連合農学研究科
研究室で留学生を受け入れた際、大学側が留学生に対してどこまで説明しているのか、研究室の日本人学生はなにをサポートをすればいいのかなどを,研究室の日本人学生全員に周知するようにしてほしい。例えば、留学生の入学時のオリエンテーションでは履修登録は学務支援システムから行い、授業の連絡はマナバを通じて行うという説明はされているが、登録やどうやったらマナバを見ることができるかは説明していないので、研究室の学生でサポートしてくださいなどを、留学生が所属する研究室の学生に周知してほしい。 留学生に対しての大学側のサポートがどれだけあるのかわからない状態で対応するのは、留学生が何をどこまで把握している	持続性社会 創生科学研究科

のか確認するところから対応しないといけないので、非常に時間がかかり、ストレスである。

大学側が留学生に対して行っているサポート一覧を留学生と各研究室に配布するなど、大学側のサポートを明確にしてほしい。

令和5年度学生生活実態調查 調查項目

住居・通学方法について

問1.【全員が対象です】あなたの出身地域はどこですか。

1. 鳥取県 2. 中国地方(鳥取県を除く)

3. 四国地方

4. 近畿地方

9. 海外

6. 関東地方

7. 東北·北海道地方

8. 九州·沖縄地方

問2.【全員が対象です】あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか。

1. 5分未満

2. 5~10分未満

3. 10~15分未満

4. 15~30分未満

5. 30~60分未満

6. 60分以上

問3.【全員が対象です】あなたの通学方法は何ですか。〔乗継の場合は最も長い区間の手段を選んでください。〕

1. 徒歩

2. 自転車

3. バイク

4. バス

5. 中部地方

5. 鉄道

6. 自家用車

7. その他

問4.【全員が対象です】あなたの住居の種別はどれですか。

1. 実家

2. アパート・マンション(バス・トイレがユニット式)

3. アパート・マンション(バス・トイレがセパレート式)

4. 共同アパート(バス・トイレ・流しが共同)

5. 学寮

6. その他

課外活動について

問5.【全員が対象です】あなたは、現在部活動やサークル等〔同好会を含む〕に入っていますか(または入っていましたか)。

1. 学内の体育系サークル等に加入(していた)

2. 学内の文化系サークル等に加入(していた)

3. 学外のサークル等に加入(していた)

4. 加入したことがなかった

問6.【「問5」の質問で加入又は加入していたと答えた人に尋ねます】

1) サークルに入った(または入っていた)主な理由は何ですか。〔複数選択可能〕

1. 学生生活を楽しむ

2. 交友関係を広げる

3. 興味・関心があった

4. 就職活動・進学に活用したい

5. 自己成長

6. 健康促進

7. その他

2) あなたは、サークル等で1週間平均何時間くらい活動していますか。

1. 4時間未満

2. 4~7時間未満

3. 7~14時間未満

4. 14~21時間未満

5. 21時間以上

問7.【全員が対象です】あなたは、直近1年間に地域活動やボランティア活動をしていますか(またはしたことがありますか)。

1. している

2. したことがある

3. したことがない

アルバイトについて

問8. 【全員が対象です】 あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

問9.【「問8」の質問ではいと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

1. 週5日以上

1. はい

2. 调3~4日

3. 週1~2日

4. 長期休業期間中のみした

5. たまに、必要に応じてした

2) 直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。〔複数選択可能〕

1. 飲食店店員 (ファミレス・ファーストフード以外)

3. 一般事務

5. 家庭教師

7. 引越し手伝い

9. 商品販売

11. 学習塾講師

2. 肉体労働 [引越し手伝い以外]

4. ファミレス・ファーストフード店員

6. ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント

8. スーパー・コンビニ店員

10. イベントスタッフ

12. その他

2. いいえ

3) 1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

1. 4時間未満

2. 4~7時間未満

3. 7~14時間未満

4. 14~21時間未満

5. 21時間以上

カリキュラムについて

問10.【全員が対象です】

1) 学部または研究科の専門教育について、満足しているものを1つ選んでください。

1. 講義(必修)

3. 実験・演習・実習・ゼミなど

2. 講義(必修以外)

4. 研究室活動 (卒業研究・修士論文を含む)

2) 学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 内容の興味深さ 4. 教員の人柄・対応

7. 課題の適切さ

2. 説明の分かりやすさ

5. 授業の双方向性

6. 設備の充実度

8. 成績の妥当性

9. その他

3. 将来への有用性

3. 数量的スキル

6. 問題発見 · 解決力

3) 授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 知識·理解

4. 情報活用スキル

2. コミュニケーション能力

5. 論理的思考力·創造的表現力

8. 生涯学習力

9. 協働力

10. 倫理観

7. 自己管理·実行力

11. 責任感·社会性

家計状況について

問11.【全員が対象です】あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくらですか。小遣いや仕送り、奨学金、アルバイトに区分して、 回答してください。

1) 収入合計

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~3万円未満	4. 3万円~ 5万円未満
5. 5万円~7万円未満	6. 7万円~9万円未満	7. 9万円~11万円未満	8. 11万円~ 13万円未満
9. 13万円~ 15万円未満	10. 15万円以上		

2) 学資負担者等からの小遣いや仕送り

1. 0円	2. ~1万円木満	3. 1万円~3万円木両	4. 3万円~5万円木油
5. 5万円~7万円未満	6. 7万円~ 9万円未満	7. 9万円~ 11万円未満	8. 11万円~ 13万円未満
9. 13万円~ 15万円未満	10. 15万円以上		
将学全			

3) 奨

)	哭子 並			
	1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~3万円未満	4. 3万円~5万円未満
	5. 5万円~7万円未満	6. 7万円~ 9万円未満	7. 9万円~ 11万円未満	8. 11万円~ 13万円未満
	9. 13万円~ 15万円未満	10. 15万円以上		
1)	アルバイト			
	1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 3万円未満	4. 3万円~5万円未満

7. 9万円~ 11万円未満

8. 11万円~ 13万円未満

問12.【全員が対象です】あなたの直近1年間における平均的な1か月の支出はいくらですか。食費、住居費、修学費、課外活動費、その他に 区分して、回答してください。

6. 7万円~9万円未満

10. 15万円以上

1) 支出合計

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~3万円未満	4. 3万円~5万円未満
5. 5万円~7万円未満	6. 7万円~9万円未満	7. 9万円~ 11万円未満	8. 11万円~ 13万円未満
9. 13万円~15万円未満	10. 15万円以上		

2) 食費

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 2万円未満	4. 2万円~ 3万円未満
5. 3万円~ 4万円未満	6. 4万円~ 5万円未満	7. 5万円以上	

3) 住居費〔家賃、光熱水料費含む〕

5. 5万円~7万円未満

9. 13万円~ 15万円未満

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 2万円未満	4. 2万円~ 3万円未満
5. 3万円~ 4万円未満	6. 4万円~5万円未満	7. 5万円以上	

4) 修学費(教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等)

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 2万円未満	4. 2万円~3万円未満
5. 3万円~ 4万円未満	6. 4万円~5万円未満	7. 5万円以上	

5) 課外活動費(サークル活動、ボランティア活動等)

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 2万円未満	4. 2万円~3万円未満
5. 3万円~4万円未満	6. 4万円~5万円未満	7. 5万円以上	

6) その他(上記に含まれない経費)

1. 0円	2. ~1万円未満	3. 1万円~ 2万円未満	4. 2万円~3万円未満
5. 3万円~ 4万円未満	6. 4万円~ 5万円未満	7. 5万円以上	

学生生活について

問13.【全員が対象です】あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。

1.	勉強・研究をする	2.	課外活動をする
3.	友人を得て豊かな人間関係を結ぶ	4.	レジャー等生活を楽しむ
5.	アルバイトをする	6.	就職の準備をする
7.	特にない		

問14. 【全員が対象です】 あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

1. 1時間未満	2. 1 ~ 2時間	3. 2~3時間	4. 3~4時間	5. 4時間以上

問15. 【全員が対象です】 授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

1. 自宅 2. 学内の自習室等 3. 附属図書館

4. 学生研究室

5. その他

問16. 【全員が対象です】本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。〔複数選択可能〕

1. 駐車場	2. 体育施設	3. 駐輪場
4. 課外活動施設(大学会館、共用施設、部室棟他)	5. 実験室·実習室	6. 附属図書館
7. スタディールーム・リフレッシュルーム	8. 講義室	9. 生協ショップ
10. 生協食堂		

問17. 【全員が対象です】 あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	
-------	---------	---------	-------	--

問18. 【全員が対象です】 現在の学生生活で満足している部分を教えてください。 〔複数選択可能〕

1. 学内に活気がある	2. 授業が面白い	3. サークル活動がうまくいっている 4. 教員との接触の機会が多い
5. 友人関係がうまくいっている	6. 大学の施設・設備が良い	7. 鳥取大学に魅力がある 8. 鳥取に魅力がある
9. その他	10. 特にない	

問19. 【全員が対象です】本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

1) 主な区分を回答してください。

1. 学習支援 2. 経済支援 3. 生活支援 4. 就職支援	5. その他
---------------------------------	--------

2) 具体的な内容をご記入ください。